全日本少年サッカー

岩手県大会 32チームの横顔 (上)

「第34回全日本少年サッカー大会」の県大会が6月19日、盛岡市永井の盛岡南公園球技場で開幕する。県内4地区を勝ち上がった32チームが、8グループに分かれて総当たりのリーグ戦を戦い、各リーグの上位2チームが決勝トーナメントに進出する。19、20日に一次ラウンド、26日に決勝トーナメント1回戦と準々決勝、27日に準決勝、決勝と3位決定戦を行う。優勝チームは、7月31日から福島県のJヴィレッジと東京・西が丘サッカー場で開かれる全国大会に出場する。各チームの横顔を3回にわたって紹介する。

【主催】日本サッカー協会、日本体育協会日本スポーツ少年団、読売新聞社
【後援】テレビ岩手ほか
【特別協賛】みちのくコカ・コーラボトリング、YKK、花王
【協賛】日清オイリオグループ、ゼビオ

丸数字は学年。白抜き数字と写真は主将。チーム名の下は市町村名。

大宮 盛岡

4―3―3のシステムが基本。身体能力が高く、シュートへの反応が良いGK坊屋鋪怜、判断力に優れるDF吉田を中心に、地区予選8試合失点0と堅守を誇る。中盤も積極的にプレスをかけ、チーム得点王のFW日向につなぐ。目標は初の決勝進出だ。

GK	坊屋鋪 怜	⑥
DF	吉田 拓海	⑥
DF	中村 一志	⑥
DF	宮野 洋佑	⑥
DF	渡辺 泰成	⑥
MF	長崎 行哉	⑥
MF	岩崎 岳史	❻
MF	佐藤 蔵人	⑤
FW	斉藤 圭紀	⑥
FW	日向 竜司	⑥
FW	越場 真之介	⑤
DF	豊川 晃聖	⑥
FW	菅野 史粋	⑥
MF	本田 真生	⑥
DF	菅原 直希	⑥
DF	長田 宗都	⑥
MF	岩舘 玲央	⑤
DF	工藤 涼風	⑤
FW	坊屋鋪 頼	⑤
GK	鷲足 拓巳	⑤
監督	浅沼 英弘	

OGASA 盛岡

創設2年目で2年連続の県大会出場。主将のDF田村が守備ラインを統率する。MF腹子の左足からの正確なパスに、俊足の攻撃陣が反応し得点を狙う。選手層が厚く、レギュラーを固定せずにその日の調子でメンバーを決められる。ミスを恐れず、上位進出を目指す。

GK	菅原 岳	⑥
DF	藤原 颯大	⑥
DF	黒丸 雄大	⑥
DF	田面山 和紀	⑥
DF	菅原 博輝	⑥
MF	葛西 真志	⑤
DF	田村 伸輔	❻
MF	腹子 直哉	⑥
FW	阿部 泰洋	⑥
MF	山子沢 篤生	⑥
FW	斉藤 一志	⑥
FW	細川 裕太	⑥
MF	小林 遼平	⑤
DF	藤原 明空	⑤
MF	佐藤光 太朗	⑤
GK	森 鷲太	⑥
DF	沢口 真一	⑤
FW	大森 京弥	⑤
MF	新川 蓮晃	⑤
DF	北田 和樹	⑤
監督	田代 聡	

厨川 盛岡

徹底した走り込みで培った強固な体力で、連戦対策も万全だ。GK久慈は安定したキャッチングを見せる。中盤は、50㍍走6秒台の俊足右サイド池頭と、左サイドのMF三上がセンタリングで好機を演出。FW山崎は両足からの強力なシュートが武器だ。優勝あるのみ。

GK	久慈 力也	⑥
DF	佐藤 大介	⑥
DF	堀合 圭一郎	⑥
DF	葉内 哲史	⑥
MF	渡部 哲平	⑥
MF	三上 久	⑥
MF	高橋 和輝	⑥
FW	菊池 理久	⑥
MF	池頭 秀悟	⑥
MF	内川 弾	❻
FW	山崎 優人	⑥
MF	佐藤 啓喜	⑥
FW	瀬川 涼雅	⑥
FW	松本 廉	⑥
FW	照井 開	⑥
MF	三浦 光浩	⑥
MF	岩崎 綸	⑥
DF	落合 芳太	⑥
GK	照井 秀星	⑥
MF	武石 賢弥	⑥
監督	松好 文司	

グルージャ 盛岡

攻守の切り替えが早く、組織的なサッカーを展開する。基本システムは4―4―2で、複数のポジションをこなす選手が多い。司令塔のMF伊藤が正確なパスを前線に送り、主将の俊足FW小野寺がスペースに走り込む。セットプレーにも注目だ。悲願の初優勝を目指す。

GK	大鳥 蓮	⑤
MF	鷹橋 康平	⑥
DF	玉熊 廉	⑤
DF	舘沢 遼樹	⑥
DF	渡辺 岳人	⑤
DF	村井 彪真	⑥
MF	佐々木 豪児	⑥
MF	畠 広一郎	⑥
FW	小林 蓮	⑤
FW	小野寺 璃輝	❻
MF	羽藤 太一	⑥
MF	村井 勇仁	④
FW	石井 優帆	④
FW	菊池 領真	④
FW	猿舘 啓伸	⑤
MF	大下 俊	⑤
DF	渋川 駿	⑥
DF	佐々木 拓	⑥
MF	伊藤 隆人	⑥
DF	森田 直	⑥
監督	鈴木 純	

＊「ひろば」休みました。